

協力し合う地球

おひるごはんのお礼に、みにゃっこが
みんなに授業を始めましたよ。
さあどんな話がきけるのやら、楽しみ楽しみ…

PM 2:00
生きものは
みんなつながって
いるみにゃ

絶妙な
バランスをとる
自然界

「おひるごはんの牛乳、おいしかったみにゃね。
みやたんは牛乳が何から
採れるか知ってる
みにゃか？」

「ギューニュー
だから牛さんかな」

「そのとおり！じゃあ
牛さんが牛乳を出すために
たくさん食べるものは？」

「うーん？ ポクソー！」

「そう、牧草だみにゃ。
その草がいっぱい生えている地面
には何がいるみにゃか？」

「うーん？ あっ！ミミズー！」

「そう、ミミズとか色んな虫や微生物がいる
みにゃね。その生きものたちは牛たちの出
したフンなどを食べて分解して土の栄養を
作り出しているんだよね。そんなふう
に生きものは、みんなつながりを持って生き
ているみにゃ。それを難しい言葉で
生物多様性っていうみにゃよ。」

「セーブツタ ヨーセイ。
あつ!! みやたんとおなじヨーセイだ。」

「…？」

「色の違う牛さんがいるように
一つの生きものでもいろんな
種類に分かれているのも生物
多様性だみにゃ。」

でも今、人間の活動の影響で、
それらの生きものどうしの
つながりが失われそうになっ
ているみにゃ。」

「もし失われたらどうなるの？」

「動物や植物などの生きものが
地球に住めなくなるだけじゃ
なく、それらの生命や働きに支
えられている人間にも大きな
影響があるみにゃ。」

つまり、生きものたちを守るこ
とは人間を守ることにもつなが
るみにゃよ。」

「みんながいるから、みやたんや
みにゃっこも生きられるんだね。」

「ありがたや〜」

生きもののがつながりが失われるとどうなる？

みにゃっこが言っているように、生きもののがつながりの中でみんなが生きています。もちろん私たち人間も例外ではありません。生物多様性が保たれている自然の中では、たくさんの生きものが生息しています。しかし、人間の活動が原因で自然環境が脅かされているのも事実です。環境汚染などにより地球全体で1年間に何万種類もの生きものが減少し、また伐採や火災により毎年、北海道と同じ面積の森林が失われているとも言われています。このように自然が脅かされると自然からの恵みにより生活をしている私たち人間にも悪い影響が及んでくるのはまちがいありません。一人ひとりができることから環境を保全する努力が必要です。